

# 役員会議ソリューション ConforMeeting/e

小俣 仁美・齊藤 裕之・窪田 清仁

**要 旨**

役員会議ソリューションConforMeeting/eは、役員会議に必要な要件である「高いセキュリティ」、「会議生産性の向上」、「迅速な経営行動の支援」、「会議コストの削減」を満たし、会議プロセス全体を支援する一貫ソリューションです。

本稿では、NEC情報システムズの役員会議での活用実績もある役員会議ソリューションConforMeeting/eの特長を、機能や会議運営という観点と、高度なコミュニケーション技術という観点から紹介します。

**キーワード**

●役員会議 ●会議ソリューション ●ペーパーレス

## 1. まえがき

企業経営活動のなかで、経営層の意思決定を議論する「役員会議」では、会議の実施・運営に関して、特に以下のような課題解決が求められています。

### (1) 高度なセキュリティ

企業活動のなかの高度な機密情報を扱うことが多いので、情報漏えい・改ざんに対する管理が求められます。またシステム化に当たっては参加者の認証が必要となります。

### (2) 会議生産性の向上

過去の議論・資料や関連資料のタイムリーな参照、参加者間の考えの共有などによる、集中した議論の活性化が求められています。

### (3) 迅速な経営行動の支援

会議での議論内容、決定事項を、関係者や部下に速やかに指示伝達することにより、経営行動の迅速化が望されます。

### (4) 会議コストの削減

事前の資料作成・配布、議事の取りまとめ、資料・議事録の配布、情報管理などのスタッフの手間に関わるコスト、「紙」資料のコストの削減が望されます。

NEC情報システムズでは、上記の課題を自社の役員会議で実証実験を行いながら解決した役員会議ソリューションConforMeeting/eを開発、製品化しました。

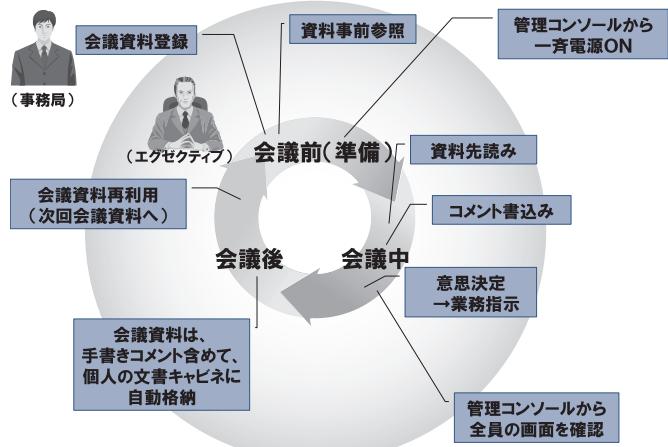


図1 ConforMeeting/eのめざす一貫会議ソリューション

## 2. 役員会議ソリューションConforMeeting/e

### 2.1 ソリューションの概要

役員会議ソリューションConforMeeting/eは、役員の行動特性、会議中の思考や議論の流れを考慮したシンプルなユーザインターフェースを導入しています。また、従来の役員会議では、参加者に紙資料も配布した上で電子会議によるプレゼンテーションという形態でしたが、ConforMeeting/eによる役員会議では、情報セキュリティと運営スタッフ業務の両方の観

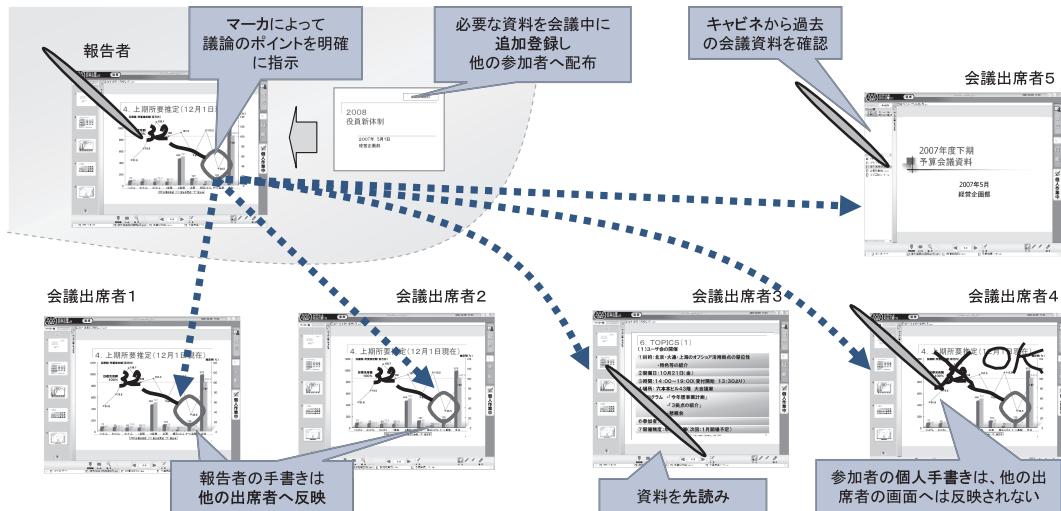


図2 ConforMeeting/e画面イメージ

点から、ペーパーレス環境を徹底的に追求しました。さらに、会議中だけでなく、会議前の資料準備から会議後の資料再利用まで、会議プロセス全体をサポートする一貫したソリューションを提供することによって、会議プロセスの効率化を実現します(図1)。

## 2.2 特長

ペーパーレス会議を実現している役員会議ソリューションConforMeeting/eは、冒頭に述べた要件を以下の手段で解決しています(図2)。

### (1) 高度なセキュリティ

参加者の会議参加資格をチェックするために、非接触ICカード認証、LDAP認証などの個人認証機能を利用できます。また、使用される会議資料はすべてサーバ上で管理されるために、会議資料は役員個々人の端末に残らず、それにより情報漏えいを防止しています。会議終了後は、資料はPDF化されてサーバ上の個人キャビネに格納されるため、改ざん防止にも有効です。さらにシンクライアント構成にも対応しており、より高度な情報セキュリティにも適応しています。

### (2) 会議生産性の向上

ConforMeeting/eによる会議では、以下に示す形態で会議進行や会議運営が実現され、会議生産性の向上が実現されま

す。

- ・会議直前まで資料更新も可能となり、さらには会議中であってもWebなどからの最新情報の取得と参加者への配布が可能となるため、新鮮な情報に基づいた議論や意思決定が行われます。
- ・参加者が議事の進行と離れて資料のページをめくる先読み機能により、議論内容を事前にチェックしたり、メモ書きによる議論項目の明確化を図ることができます。
- ・レーザポインタの代わりとなるマーカー機能を用いて議論箇所を画面上で明確に示すことで議論の活性化を支援します。
- ・過去資料の参照や検索が簡単に実現できるため、前回から継続した議論や過去背景に基づいた議論など、議論の効率化を促進します。
- ・ホワイトボード機能を用いることで、参加者全員が同じ画面に書き込むような自由な討論を簡単かつ効率的に実現できます。

### (3) 迅速な経営行動の支援

会議中や会議終了後に、資料ページに手書きのコメントを付けて秘書や部下にメールで送付することができるため、迅速な経営行動を支援します。従来は文字だけ(メール)の指示や音声だけ(電話)による伝達でしたが、メモ付きの資料を送付することにより、正確な情報に基づいた指示や情報展開が可能になります。

#### (4)会議コストの削減

会議プロセス全体のペーパーレス化を実現したことにより、大きな負担となっていた紙資料の印刷や、直前の資料差替え作業、会議後の資料ファイリング、機密資料の安全な廃棄など会議に付随する業務にかかるスタッフの負担を大幅に削減します。

また、会議資料は参加者の個人キャビネに自動的に格納されるため、スタッフによるファイリング作業も不要となります。

### 3. ConforMeeting/eを支える技術基盤

ConforMeeting/eは前述の解決手段を実現するため、様々な技術基盤により構成されています。そのなかから、多人数でのコミュニケーションを実現するアプリケーションの容易な構築と将来の拡張性を備えた「リアルタイムコミュニケーションサービス基盤（以降RTC基盤と表記）」と、会議中の資料共有を高速に行える「資料共有基盤」について説明します（図3）。

#### 3.1 RTC基盤

RTC基盤は、NECが開発した、会議などのコミュニケーション環境を実現するミドルウェアです。ConforMeeting/eで

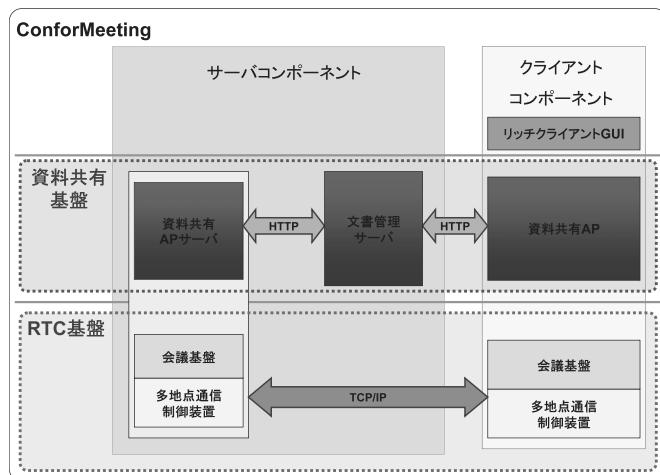


図3 技術基盤の位置付け

はRTC基盤の提供するいくつかの特長のなかから以下を活用しています。

#### (1)容易なAPI構築

部品化アーキテクチャや、多人数でのコミュニケーションを実現するアプリケーション構築に適したAPIの整備により、アプリケーションを容易に構築することができます。

#### (2)高いスケーラビリティ

RTC基盤のソフトウェア多地点通信制御装置が持つ、同時多数セッション制御機能では、1,000クライアントまで対応可能です。したがって、ConforMeeting/eでは、参加可能な役員人数を限定せずに会議を設定することができます。

#### (3)広い適用環境

高速な独自通信プロトコルや、インターネット経由での接続を可能にするHTTPトンネリングなど、マルチプロトコルを提供し、インターネット/インターネットの相互接続が可能です。アプリケーション側でプロトコルを意識する必要はなく、最適なコミュニケーション環境を提供します。

### 3.2 資料共有基盤

#### (1)高速なクライアントキャッシュ

ユーザが会議に出席すると、会議資料をクライアントに配布しキャッシングします。会議中は、制御電文だけを全クライアントに同報するので、高速な資料のページめぐりや、拡大・縮小などペーパーレスならではの付加価値を提供します。

#### (2)インテリジェントな資料配信

資料配信時には、配信順序をページ単位で動的に制御します。これにより、必要な資料の必要なページを最優先で配信でき、速やかに該当ページを表示し、議論に入ることができます。

### 4. むすびー今後の展開ー

本稿では役員会議ソリューションConforMeeting/eについて述べました。NEC情報システムズでは、2006年6月からConforMeeting/eを自社の役員会議に導入し、役員自らが有効性の検証を行い、製品へフィードバックしています。また、この検証を通じ、「会議の質の充実」につながることも実証されました。

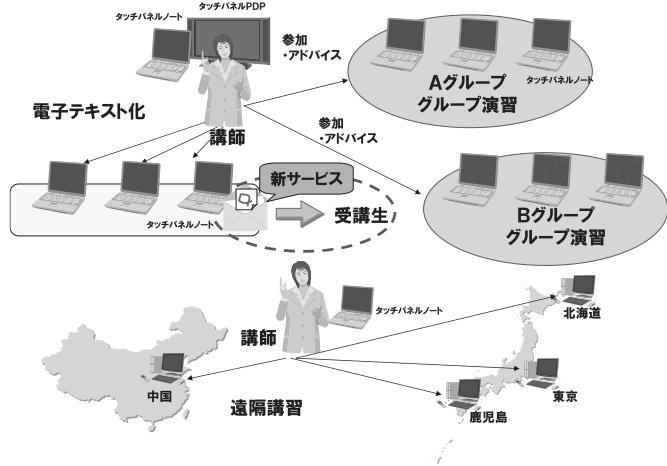


図4 教育分野への展開例

今後は、以下に例示したような役員会議以外への様々な領域への展開を予定しています。

#### (1)一般社員の会議、ミーティング

キーボード入力、音声認識の活用などの入力IFの多様化、メンバが持ちこむ個々人のノートPCによる会議の即時開催機能、会議室に閉じた会議から個々の端末による多拠点間会議の実現など、一般的な会議へ拡大を予定しています。

#### (2)教育

電子化された講義資料をもとに、講義中の資料への参加者手書き機能で全員の情報発信や情報共有を容易に行ったり、講義中のやりとりがついた電子講義資料を受講生に配布できる教育システムが実現できます(図4)。さらに、ホワイトボードで実施していたブレインストーミングを電子ホワイトボード上で実現するグループ演習や、遠隔地の受講生に個々人に合わせた内容を書き込みながらの遠隔個人指導などの用途も検討中です。

さらに、当社の得意とする音声、画像、言語処理を始めとする情報活用技術の活用、(たとえば議事録の自動生成)も計画しています。

## 執筆者プロフィール

小俣仁美  
NEC情報システムズ  
先端技術ソリューション事業部

齊藤 裕之  
NEC情報システムズ  
先端技術ソリューション事業部  
マネージャー

窪田 清仁  
NEC情報システムズ  
先端技術ソリューション事業部  
グループマネージャー

●本論文に関する詳細は下記をご覧ください。

#### 関連URL

ConforMeeting/eの製品詳細:  
<http://www.nis.co.jp/conformeeting/>